

大学院教養科目「研究の最前線と知の統合」

「持続可能な未来とレジリエンス」をテーマに、様々な分野の教員が研究内容や研究者の視点を語ります。
テーマに対する解釈・疑問について、学生と講師、あるいは学生同士で討論できる対話型授業です。



- 授業科目：研究の最前線と知の統合（持続可能な未来とレジリエンス）
- 時期・授業形態：2024年9月26日（木）、9月27日（金）、10月1日（火）ZOOMによる集中講義
一部、対面授業とZOOMを併用する可能性あり。実施形態・時間割等の詳細はMoodle等で連絡します
- 受講対象：全学の大学院生（修士課程、博士前期課程、博士後期課程、博士課程）
※本科目は寺田寅彦フェローシップ、S-HIGOフェローシップ、Well-Being社会を先導する異分野横断型博士人材育成プログラム、Better Co-being社会を切り拓く異分野共創型博士イノベーター育成プログラムの教育プログラム、大学院自然科学教育部の大学院教養科目にも含まれています。
- 使用言語：日本語
- 単位数：1単位（単位の取扱い（修了要件に含むか等）については、所属教育部の教務担当にお尋ねください）
- 評価方法：授業への参加状況・態度とレポート等による評価

■第1回：概論

科目の目的、テーマ設定の意図や到達目標等について
大学教育統括管理運営機構
梅田 香穂子 准教授

■第2回：イメージングで測る健康レジリエンス

大学院生命科学研究部
首藤 剛 准教授

■第3回：メンタルヘルスとレジリエンスの構築

大学院人文社会科学研究部
西川 里織 准教授

■第4回：少年法・少年非行と社会のレジリエンス

大学院人文社会科学研究部
岡田 行雄 教授

■第5回：筋肉のレジリエンスが紡ぐ健康長寿の未来

発生医学研究所
小野 悠介 教授

■第6回：防災と地域社会のレジリエンス

大学院先端科学研究部
竹内 裕希子 教授

■第7回：水環境のレジリエンス

大学院先端科学研究部
細野 高啓 教授

■第8回：総合討論

大学教育統括管理運営機構
梅田 香穂子 准教授

各授業で得た形式知を結びつけ持続可能な未来とレジリエンスに対する考えを持ち、何を得たか研究や将来にどう活かしたいかを議論・発表しよう！

履修説明はMoodleで視聴できます。お気軽にご覧ください。
<https://md.kumamoto-u.ac.jp/course/view.php?id=84471>



- ✓ 熊本大学の人文社会科学・生命科学・自然科学の研究者から、各分野の最先端の研究内容や研究者の視点などの話を聴ける！
- ✓ 普段触れることのない異分野の研究の最前線や考え方を学べる！
- ✓ 知識や考え方を学ぶだけでなく、持続可能な未来とレジリエンスに対する疑問や考え・解釈について異分野の講師と、あるいは学生同士、ざっくばらんに議論でき、学際性が身につく！

履修登録締切
2024年5月15日（水）

ぜひ、履修してください！



問合せ・申込先：熊本大学大学教育統括管理運営機構 大学院課程教育推進部
Email: gra-gene@jimu.kumamoto-u.ac.jp